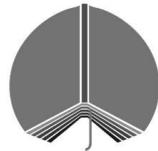


あつ晴れ岡山人「萩原 朔太郎」



文学創造都市
おかやま

に関する資料リスト

岡山県立図書館 郷土資料部門

【萩原 朔太郎(はぎわら さくたろう)】(明治19年～昭和17年)

群馬県前橋市出身。県立前橋中学校在学中から短歌や詩を書きく美棹(みさお)の筆名で、岡山の文芸誌「白虹」や「明星」、「文庫」などに投稿。中学校卒業後、1907年(明治40)熊本の第五高等学校へ入学したが退学し、翌年、岡山の第六高等学校へ転入学。寄宿舎で暮らし、当時岡山で創刊された詩誌「白虹」の同人となって作品を発表し、地元詩人らと交遊していた。しかし、2年生の時病気につき六高を中退、前橋へ帰った。1917年(大正6)2月処女詩集『月に吠える』を出版、1924年(大正13)第2詩集『青猫』を刊行。日本語の特性を生かした自由詩の創造は1934年(昭和9)『氷島』の出版により、近代日本口語詩を代表する大詩人といわれた。1928年(昭和3)の詩論『詩の原理』や『日本への回帰』など評論集も多く著した。

【参考文献】『岡山県歴史人物事典』岡山県歴史人物事典編纂委員会／編 山陽新聞社 1994

※ リストはテーマに関連する本の一部です。

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号	資料番号
萩原朔太郎著作					
恋愛名歌集	萩原 朔太郎／著	小学館	1945	911.104/19/	0000495481
郷愁の詩人与謝蕪村	萩原 朔太郎／著	第一書房	1937	911.34/14/	0000502336
詩人の使命	萩原 朔太郎／著	第一書房	1937	911.5/39/	0001015296
詩人はすべて宿命である 萩原朔太郎による詩のレッスン	萩原 朔太郎／著	国書刊行会	2022.10	911.5/ハキ22/	0016442246
月に吠える	萩原 朔太郎／著	日本図書センター	1999.10	911.56/ハキ01/	0004582227
萩原朔太郎	萩原 朔太郎／詩	ポプラ社	2004.4	911.56/ハキ04/	0006318059
萩原朔太郎 ふらんすへ行きたしと思えどもふらんすはあまりに遠し	萩原 朔太郎／著	小学館	2010.5	911.56/ハキ10/	0009737388
宿命	萩原 朔太郎／著	未来社	2013.7	911.56/ハキ14/	0012034054
蝶を夢む	萩原 朔太郎／著	新潮社	1923.7	911.56/ハキ14/	0012729075
日本詩人全集 第14巻 萩原朔太郎		新潮社	1966.12	911.568/ニホ07/1	0013063649
永遠の退屈	萩原 朔太郎／著	大和出版	1978.8	914.6/ハキ13/	0012158614
昭和文学全集 第22巻 高村光太郎 萩原朔太郎集		角川書店	1953	918.6/2/22	0000695049
日本現代文学全集 第60巻 萩原朔太郎集	伊藤 整／[ほか]編集	講談社	1965	918.6/12/60	0000695452
ちくま日本文学全集 第18巻 萩原朔太郎		筑摩書房	1991.10	918.6/チク91/18	0002881514
萩原朔太郎全集 第1巻～第15巻	萩原 朔太郎／[著]	新潮社	1975	918.68/58/1	0000369637
二魂一体の友	萩原 朔太郎／著	中央公論新社	2021.8	B911.52/ハキ21/	0015455769

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号	資料番号
萩原朔太郎著作					
萩原朔太郎詩集	萩原 朔太郎／[著]	新潮社	2004.9	B911.56/ハキ19/	0015020258
猫町 散文詩風な小説	萩原 朔太郎／著	ベストセラーズ	2006.11	F65-74/ネコ07/	0007565013
朔太郎・朔美写真展 朔太郎が切り取った風景を求めて	[萩原 朔太郎／撮影]	萩原朔太郎記念水と緑と詩のまち前橋文学館	2012.11	L748/ハキ13/	0011549862

萩原朔太郎関連資料					
萩原朔太郎と与謝蕪村展	萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち前橋文学館／編集	萩原朔太郎記念水と緑と詩のまち前橋文学館	2006.10	911.362/ハキ07/	0008012957
萩原朔太郎とデザイン	水と緑と詩のまち前橋文学館／編集	水と緑と詩のまち前橋文学館	2007.9	911.52/ハキ07/	0008316143
萩原朔太郎というメディア	安 智史／著	森話社	2008.1	911.52/ハキ08/	0008448870
萩原朔太郎の音楽	萩原朔太郎記念水と緑と詩のまち前橋文学館／編集	萩原朔太郎記念水と緑と詩のまち前橋文学館	2010.10	911.52/ハキ11/	0010342491
萩原朔太郎	野村 喜和夫／著	中央公論新社	2011.11	911.52/ハキ11/	0010782159
萩原朔太郎「意志」の覚醒	堤 玄太／著	森話社	2012.12	911.52/ハキ13/	0011667938
萩原朔太郎論	中村 稔／著	青土社	2016.2	911.52/ハキ16/	0013300017
萩原朔太郎	木村 和夫／著	沖積舎	2016.4	911.52/ハキ16/	0013066246
萩原朔太郎とヴェルレーヌ	小川 敏栄／著	人間と歴史社	2017.2	911.52/ハキ17/	0013894381
詩人・萩原朔太郎の横恋慕	大野 富次／著	あけび書房	2019.7	911.52/ハキ19/	0014994974
萩原朔太郎大全	朔太郎大全実行委員会／編	春陽堂書店	2022.11	911.52/ハキ22/	0016460263
萩原朔太郎と詩的言語の近代	安 智史／著	思潮社	2024.3	911.52/ハキ24/	0016705436
萩原朔太郎詩集『月に吠える』—〇〇年記念展	萩原朔太郎記念水と緑と詩のまち前橋文学館／編集	萩原朔太郎記念水と緑と詩のまち前橋文学館	2017.7	911.56/ハキ18/	0014432389
中原中也と萩原朔太郎	萩原朔太郎記念水と緑と詩のまち前橋文学館／編集	萩原朔太郎記念水と緑と詩のまち前橋文学館	2015.10	L911.52/ハキ16/	0013322425
「萩原朔太郎」の亡靈	内田 康夫／著	角川書店	2011.7	F10-20/ハキ11/	0010696748

雑誌					
白虹 第1巻第1号～第2巻第1号 ※投稿作品あり		血汐会	1904	K//	0102318169
水甕 第60巻第1号 萩原朔太郎と岡山		水甕社	1973.1	K//	0102416195
國語と國文學 第97巻第10号 詩的原理論の再構築—萩原朔太郎と吉本隆明の所論を超えて		筑摩書房『國語と國文學』編集部	2023.1	91//	0107326969
三田文學 第102巻第153号 萩原朔太郎と戦争—「愛國詩」とはなにか		三田文学会	2023.5	91//	0107453409